PRESS RELEASE

各 位

2021 年 1 月 28 日
野村不動産ホールディングス株式会社
（コード番号：3231 東証第一部）

リリースカテゴリー

都市型コンパクトタウン	都市再生・地方創生	グローバルへの取組み	不動産テック
働き方改革	健康・介護ニーズ	社会課題	定期報告・レポート

2021 年 3 月期 第 3 四半期連結決算のお知らせ

野村不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都新宿区 代表取締役社長：沓掛 英二）は、本日、2021年 3 月期第 3 四半期連結決算（2020年 4 月 1 日～2020年12月31日）を確定しましたので、お知らせいたします。なお、詳細については、「2021年 3 月期 第 3 四半期決算短信」を合わせてご参照下さい。

＜サマリー＞

■ 2021年 3 月期 第 3 四半期の連結業績は、売上高 3,733億円（前年同四半期比12.6%増）、営業利益 475億円（同68.6%増）、事業利益 478億円（同65.3%増）、経常利益 400億円（同82.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益 259億円（同77.1%増）となりました。

※事業利益 ＝ 営業利益 ＋ 持分法投資損益 ＋ 企業買収に伴い発生する無形固定資産の償却費

■ 住宅部門・・・マンションと戸建を合わせた住宅分譲事業の計上戸数は 1,585 戸（前年同四半期比 206 戸増）となりました。なお、通期の計上予定に対する当第 3 四半期末時点での契約進捗率は 99.3%となりました。

■ 都市開発部門・・・売上高 1,532億円（前年同四半期比5.9%増）、事業利益 325億円（同31.7%増）となりました。これは主に、新型コロナウイルス感染症の影響によって商業施設の賃貸収入やフィットネス事業における収入が減少した一方で、収益不動産の物件売却収入が増加したことによるものです。

■ サービス・マネジメント分野・・・資産運用部門は国内運用資産残高の増加によって、また仲介・CRE部門は主に新築受託販売事業の手数料収入の増加やホールセール事業の仲介取扱件数・取扱高の増加によって、それぞれ前年同四半期比で増収増益となりましたが、運営管理部門は減収減益となりました。

■ 2021年 3 月期連結業績予想については2020年 7 月に発表した予想を変更し、売上高 5,800億円、営業利益 710億円、事業利益 700億円、経常利益 590億円、親会社株主に帰属する当期純利益 370億円といたします。

■ 2020年5月に発表した配当予想に変更はありません。

■ 2021年4月26日までに、40億円を上限とした自己株式の取得を実施する予定です。また、取得する自己株式の全数、及び2021年 1 月28日時点で保有する自己株式について、2021年5月31日時点で消却を行う予定です。詳細は、2021年1月28日付 「自己株式取得に係る事項の決定及び自己株式消却に係る事項の決定に関するお知らせ」をご参照ください。

以 上

（添付資料）
2021年３月期　第３四半期決算短信
2021年３月期　第３四半期決算短信補足資料

本件に関するお問い合わせ窓口
野村不動産ホールディングス株式会社　コーポレートコミュニケーション部（上羽・金山）
ＴＥＬ０３－３３４８－８１１７　・　ＦＡＸ０３－３３４３－０４４５